



School

教育情報 桂川っ子

【問合せ先】桂川町教育委員会 ☎65・1149

題字：桂川中学校美術部
伊豆丸 姫花 さん

■将来の夢を持っている
桂川の中学生

教育長 瓜生 郁義

以前から、わが国の子どもたちは、諸外国に比べて「自己肯定感」（自分は大切な存在だと感じる感覚）が低いことが指摘されてきました。

色々な調査でも、「自分はダメな人間だ」と思うことがある」とか「自分には良いところがない」と思う子どもの割合が高く、反対に「自分には人並みの能力がある」とか「今の自分が好きだ」と思う割合が低い傾向を示しています。

では、桂川町の子どもたちはどうでしょうか。平成28年度実施の全国学力・学習状況調査によると、桂川中学校の生徒は、「自分には、良いところがありますか」という質問に対して、「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」の合計では、全国平均を17・3ポイントも超える結果が出ています。

に対しても7・5ポイント全国平均を超えています。

このように桂川の中学生は、自分を肯定的に捉え、希望を持って自己を伸ばそうとしている生徒たちです。これは、学校を中心として家庭、地域の連携・協力体制が出来ているからではないでしょうか。

桂川中学校では、例年2月に2年生を対象に「立志式」を行っていましたが、かぜなどによる欠席者が多かったため、本年は、4月22日(土)に、進級した3年生による「立志式」が住民センターで実施されます。

「立志式」は「将来の夢」「これからの自分」などを、調べ学習などをもとに考えをまとめたものです。ぜひとも、保護者や地域の方々にはご参観いただき、桂川中学校生徒たちに熱いエールを送っていただくとともに、これからも桂川町の教育目標である「自ら学び協力して未来を拓く心豊かでたくましい子どもの育成」の推進にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

◀同和問題研修会の様子。笑いを交えながらも人権問題を話す矢野さん(右)。三遊亭好吉さんの人権落語もありました(左)。



Human Rights 人権だより

【問合せ先】桂川町人権センター ☎65・1187

■啓発冊子「けいかん」を各戸配布しました



3月下旬に、啓発冊子「けいかん」を各戸配布しましたが、届きましたか。

平成28年度の取り組みを掲載していますので、ぜひお読みください。

■各行政区の分館長人権・同和問題研修会

毎年、各行政区の分館長を対象とした人権・同和問題研修会を実施しています。

平成28年度は2月に、大分県人権問題講師団講師・大分観光講師である矢野大和さんを招き、「笑顔で考える人権問題」と題して講演をしていただきました。

人権問題というと重く暗いイメージと思われがちですが、矢野さんの話には、会場では終始笑いが起こり、かつわかりやすい講演でした。

研修会に参加した分館長の方々のアンケートには、「大変意義のある面白い講話でした。また聴きたいです」「ユーモアたっぷりに

「けいかん」について講演され、日常のなかの偏見・差別についてわかりやすい話でした」と感想が述べられていました。

人権センターでは、「人権出前講座」をおこなっています。ご希望があれば、今回の講師である矢野大和さんのご紹介もできます。まずは、人権センターへご連絡ください。

■「じんけん体操」で元気！

大分県人権擁護委員連合会が「じんけん体操」を作成し、普及を行っています。

小さな子どもから高齢者まで楽しくできる体操で、作詞・作曲は、アニメ「アンパンマン」の原作者である「やなせたかし」さんです。

立っても椅子に腰かけてもできる体操です。心と身体をリフレッシュしませんか。CDの貸し出しもしますよ。詳しく知りたい方は、人権センターへご連絡を！



じんけん体操
大分県人権擁護委員連合会